

吉田町って、どんなまち？

安全安心 × にぎわいで、 人が集うまち

町の新たな安全が、
町に新たなにぎわいを生み出す。

シーガーデンシティ構想

吉田町は、駿河湾に面し、大井川の河口西岸に位置するまちです。
平成23年に作成した〈1000年に1度の
大津波を想定したハザードマップ〉を基に、
津波防災まちづくりに注力してきました。
そして平成28年から、防災とにぎわいの
両輪でまちづくりを考える〈シーガーデン
シティ構想〉に取り組んでいます。

シーガーデンシティ構想とは

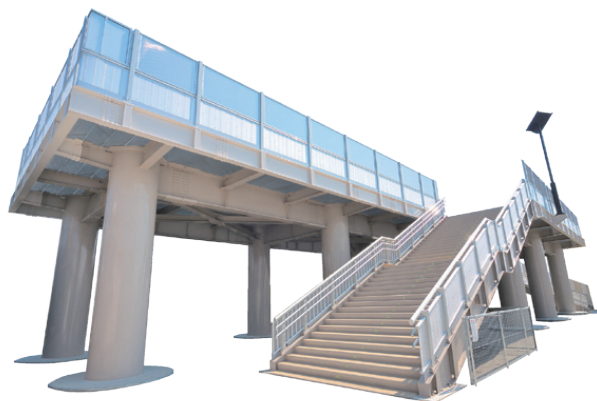
町を守る新たな安全を生み出すにあたり、
平常時には人が集う場としても活用でき
る新たなにぎわいの創出を目指す吉田町
独自の取り組みです。

新たな人の
流れを作る
にぎわいづくり

1000年に1度の
大津波に備える
津波防災まちづくり

豊かで勢いのある魅力的なまちへ

命を守る



全国初！

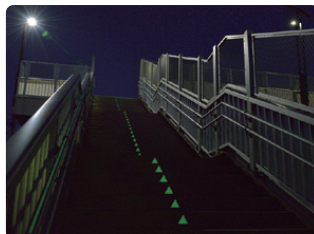


▲ 道路をまたぐ避難タワー

普段は歩道橋として、有事には
津波避難施設として活躍します。

＼平成26年3月末に完成 / 津波避難タワーの建設

津波浸水想定区域内の約1万7000人が5分以内に最寄りの
津波避難施設に避難できるよう、15基の津波避難タワー
を建設しました。



太陽光発電が可能な
ソーラー照明灯付き。
停電時も安心。



津波避難訓練

津波が到達することを想定した避難訓練
を実施しています。いざというとき、
速やかにタワーまで避難ができるよう、
経路や避難にかかる時間を確認します。



津波避難路の整備

交通の利便性を高めるとともに、迅速に
避難ができるよう道路の整備を進めて
います。

防災情報をいつでも、どこでも



防災ラジオの配布

防災情報が流れる防災ラジオ
を、各戸(希望者)に無償配布
しています。



吉田町公式 LINE よしだ防災メールの活用

防災・防犯情報、同報無線の
放送内容などを受け取るこ
とができます。

未来につなごう防災力



ジュニア防災士 養成講座

中学生を対象に養成講座を
開催。地域防災を担う人材
の育成を目指しています。



地域防災指導員 養成講座

防災対策、避難所の運営方
法などを学ぶ講座を開講し、
地域の防災リーダー育成に
取り組んでいます。

1000年に1度の大津波に備える 津波防災まちづくり

命を守る

暮らしを守る

被災時の生活を支援する

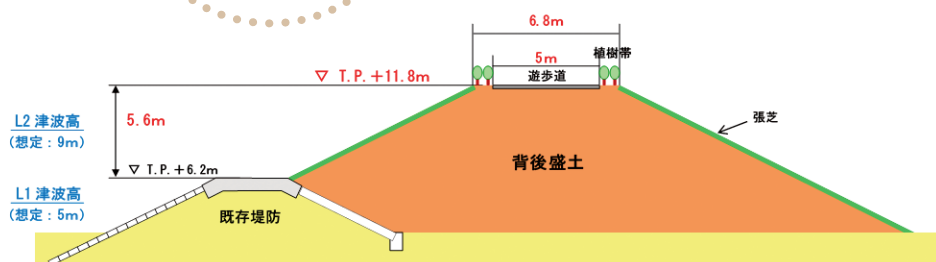
平成23年から、1000年に1度の巨大津波に備える〈津波防災まちづくり〉に力を入れています。

町民が安心して暮らし続けられるまちの安全づくりはもちろん、企業が安心して活動できる環境づくりを進めています。



▲ 川尻海岸防潮堤 完成式典
令和4年5月14日に開催。

暮らしを守る



▲ 防潮堤の断面イメージ

高さ11.8mの防潮堤を整備

1000年に1度発生が予想される巨大地震が引き起こす大津波を想定してつくられた防潮堤(川尻海岸防潮堤)が完成しました。



▲ 東西約1.5kmの海浜回廊



吉田漁港多目的広場

吉田漁港内に位置する多目的広場は、災害時にはヘリポートや緊急物資の一時保管場所などに利用されます。



約2.6haの敷地内に
約1,400個の
コンクリートブロックを備蓄

大井川川尻地区河川防災ステーション

災害時の水防活動の拠点として県営吉田公園の南側に設置されました。復旧活動に必要な土砂やコンクリートブロックなどの資材を備蓄し、災害時に活動するためのヘリポートが整備されています。

● 吉田町水防センター



強風や塩害に強い建築用コンテナを活用して建てられた本センターは、災害時には水防活動の拠点となります。平常時には、防潮堤上に整備された天端道でウォーキングやサイクリングを楽しむ人たちの休憩場所となっています。



◀ 太陽光と風力発電を備えており、緊急時は避難所に運び、電力供給源として活用可能です。

まちの
ミライ

住吉海岸防潮堤の整備などを進め、“全周防御”を実現。さらなる“まちの安心づくり”を目指していきます。

A Disaster-Resistant and Vibrant Town

Surrounded by the Oi River and Suruga Bay, this town has initiated a [Sea Garden City Concept]. This is an initiative to develop an attractive town by promoting efforts to create “new safety” and “new vitality.” As new measures toward safety, we are

focusing on disaster-resistant urban development, and are initiating steps to prepare for a massive tsunami by constructing an 11.8 meter-high seawall and 15 tsunami evacuation towers, as well as conducting evacuation drills.



新たな人の流れを作る にぎわいづくり

北オアシスパークや川尻海岸防潮堤などの環境整備が進み、新たなにぎわいづくりが、いよいよ本格的にスタートします。人の心を魅了するまちを目指して、安心×にぎわいのまちづくりを推進していきます。



親水・交流ゾーン

吉田漁港内に位置する多目的広場では今後、水産振興や各種イベントの開催を視野に入れて整備を進めています。



海辺のプロムナードゾーン

防潮堤は平常時、海浜回廊として活用。富士山や駿河湾を眺めながら楽しむ、ジョギング・散歩・サイクリングは格別です。

レジャーとスポーツゾーン
笑顔いっぱいの県営吉田公園周辺でアウトドア体験などの多彩なレクリエーションが満喫できる環境づくりを進めます。



▲ 天気が良い日には、富士山を眺めながら、水防センターのテラスでひと休み。

Aiming to be a Vibrant Town

We have named the coastal area "Sea Garden" and are initiating efforts to create a place where people can gather. Around the seawall completed in March 2022, we are creating an environment where people can enjoy sports and leisure activities to the fullest. We are also participating in a project being undertaken in Shizuoka Prefecture

called [Pioneering the Frontier of "Fujinokuni"]. We are initiating efforts to attract commercial facilities around the disaster prevention park and new businesses in the inland area.

被災時の生活を 支援する

“ふじのくに”のフロンティアを拓く取組

『“ふじのくに”のフロンティアを拓く取組』は静岡県内全域で取り組んでいる事業です。

南海トラフ巨大地震などに備えると同時に、災害後の「復興」を視野に入れたまちづくり・魅力ある地域づくりを行っていくことを推進しています。

吉田町の取り組み



平常時の役割

商業施設

北オアシス
パーク

災害時の役割

- 荷さばき所
- 生活物資の供給

- 情報発信の拠点
- 仮設住宅用地

北オアシスパークとその周辺の整備

防災公園であるオアシスパークの周辺には、災害時の生活を支える物資の供給にご協力いただける商業施設を誘致しています。また、北オアシスパークの広場は仮設住宅用地として活用されます。



企業移転・誘致のための 土地確保

津波浸水想定区域から移転する企業の土地を確保し、生産活動の継続を支援しています。有事の際、一部緑地を応急仮設住宅用地として活用する約束を結んでいます。

まちの
ミライ

シーガーデン周辺のにぎわいづくりとともに
吉田I.C周辺をもっと便利に！



▲ 令和6年、現在の吉田I.C周辺

吉田I.Cのバス停を整備し、バスターミナル化を図っていきます。バス利用者の利便性を向上させると同時に、大規模災害が起こった際には集団避難の一次集合場所などとして活用できます。

誰もが共に 暮らしやすいまち

令和4年7月、町内の外国人住民の人口が2,000人を超えました。年々その人口は増加傾向にあります。文化を認め合う機会をつくり、外国人住民と日本人住民がともに暮らしやすいまちを目指しています。

多文化共生



多言語による情報発信

ゴミの出し方や騒音、交通ルールなどの日本の生活習慣を、外国人住民に正しく伝えるため、多言語による情報発信を充実させています。



初心者向け日本語教室

日本語が話せず、地域のコミュニティに参加できない外国人住民を対象に日本語教室を開催。日本語を習得できる機会の拡充を図っています。



ワールドフェスタ

さまざまな国の文化を気軽に体験でき、交流を深められると評判のイベントです。日本人住民が多文化を知り、相互の理解と親善を深める取り組みを行っています。

Towards a Town where Everyone can Live Comfortably

We are creating opportunities for people to appreciate each other's culture by holding events such as the World Festa in Yoshida and offering Japanese language classes. We aim to create a town where both foreign and Japanese residents can live comfortably together.